



【日時】 2015年2月7日（土）～8日（日）
【メンバー】 L長谷川J、SL田辺、坂村

アプローチの遠さと南面向き斜面で少し敬遠していたが、1月に登った尾瀬西山から見た感じでは木の疎林が広がっていた。針葉樹の森は、落雪で斜面に凸凹が多かったり、樹間が狭くスキー向きではないことが多いが、記録も少ないので行ってみることにした。

今年は雪も多く、尾瀬周辺はスキー探索のチャンスでもある。



2/7：戸倉スキー場～富士見下山荘跡～田代原～BC～白尾山（晴れ）

戸倉スキー場に車を停めて、スキー場脇の林道からアプローチとなる。富士見下山荘跡で先行者団体に追いついた。話を聞くと富士見峠で訓練とのことだった。十二曲がりの林道は序盤のヘヤピンをショートカットで登り、後半はほぼ林道通しで進むと田代原に到着した。天気が穏やかなので、ここでひと休みして小さな田代付近にBCを設営して、白尾山に向かう。

冬路沢は地形図で見ると渡りやすそうな印象だが、実際は沢型は細くえぐれており、流れが出ている箇所や薄いSBが多い。1570mでSBを渡り、対岸の1769の尾根に取り付く。

斜度は均一で樹間も広く、滑りの期待が膨らむ。

アヤメ平から続く平坦な稜線に出ると、360度のパノラマが広がる。素晴らしい～。東京からの近場でこんなところがあるのは嬉しい。

白尾山の山頂は不明瞭で、それらしい場所で記念写真。

シールのまま、登ってきた稜線の下降点に移動する。尾瀬らしい針葉樹の森だが、樹間が適度に空いていて、滑りが楽しい。あっという間に冬路沢に到着した。SBを渡り、上手くカニ歩き&トラバースでBCへ戻った。





2/8：BC～稜線～BC～戸倉スキー場（晴れ後雪）

時間寝坊してしまった。
午後の天気がイマイチなので、白尾山を往復することにする。
昨日のトレースが残っていたため、登りは楽チン。
しかし後ろを振り返ると上越側から、雪雲が迫ってきて、稜線に着いたタイミングで風と雪になった。
時間だけは十分があるので、冬路沢SBの少し上流を目指して滑り混む。
上部はモナカが多かったが、下部の樹林帯にはパウダーが残っていた。
1600mくらいで、SBを渡りトラバースしてBCへ戻った。
戸倉スキー場までは、トレースのジェットコースターでアツと言う間に到着する。

尾瀬戸倉スキー場の巨大マスコット「とくま君」と記念撮影を撮りたいとせがむ大人2人。「くららちゃん」というマスコットもいるようだが、この日は会えず。もう少し人が来ても良さそうな山だが、アプローチの遠さが。。難点か。



【行程】

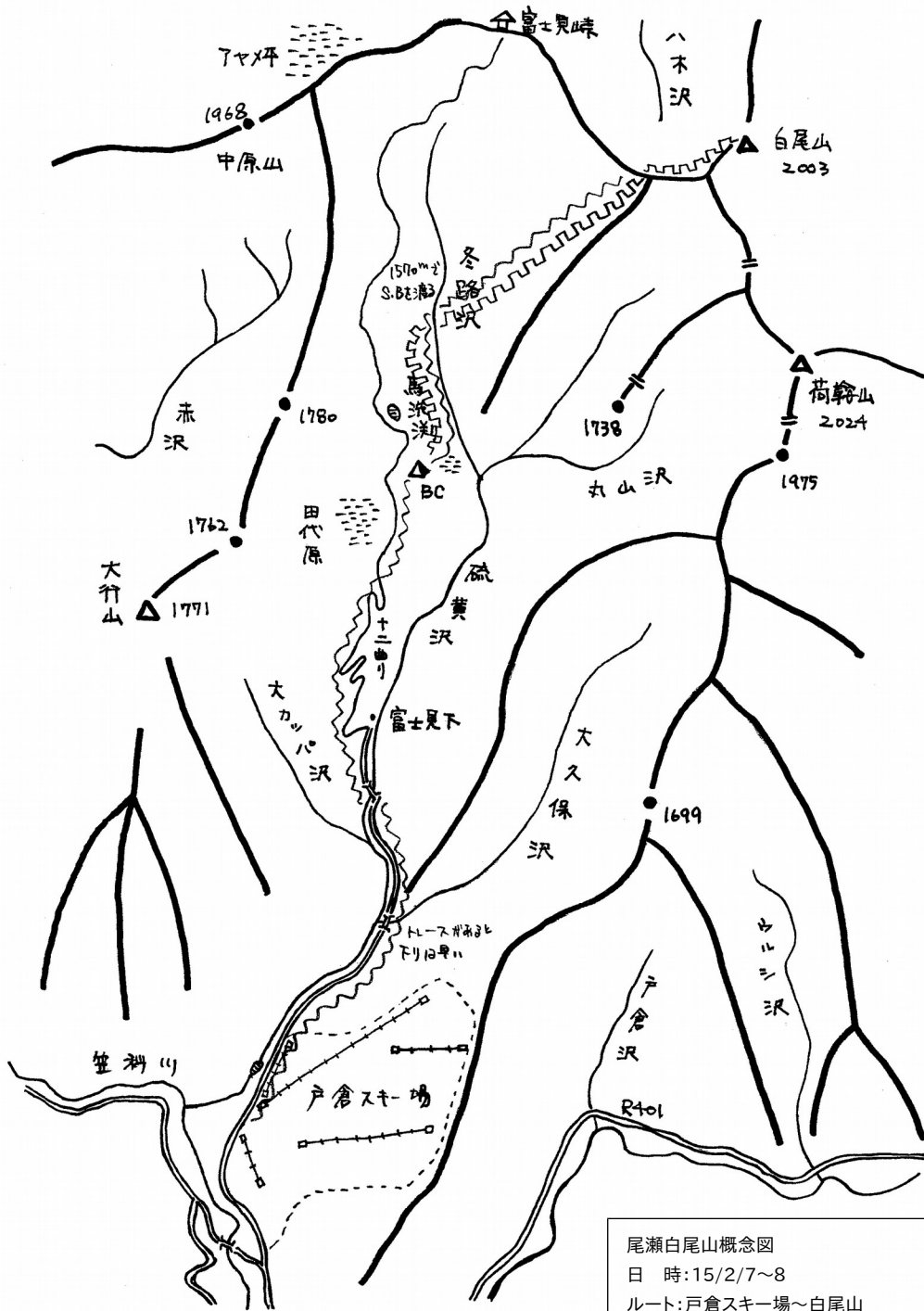
<2/7> 戸倉スキー場(8:00)～富士見下(9:30)～BC(11:00)～白尾山

(14:00)

～BC(15:30)

<2/8> BC(8:30)～稜線(10:00)～BC(11:00)／11:30～戸倉スキー場(12:00)

【地図】鎌田、至仏山



尾瀬白尾山概念図
 日 時:15/2/7~8
 ルート:戸倉スキー場~白尾山
 作図:長谷川